

※資料に関するお問い合わせ先

奈良国立博物館 学芸部 情報サービス室

Tel 0742-22-4463(直通) Fax 0742-22-7221

令和4年2月吉日

奈良国立博物館

特集展示

新たに修理された文化財

Thematic Exhibition from the Permanent Collection

Newly Conserved Cultural Properties

新修復文物系列展

새롭게 수리한 문화재

[1] 会 場 奈良国立博物館 西新館 第1室

[2] 会 期 令和4年3月1日(火)～令和4年3月27日(日)

休 館 日 3月22日(火)

開館時間 午前9時30分～午後5時(土曜日は午後7時まで)

※入館は閉館の30分前まで

[3] 主 催 奈良国立博物館

[4] 観覧料金 名品展(なら仏像館)の料金でご覧になれます。

一 般 700円

大 学 生 350円

※ 高校生以下または18歳未満の方、満70歳以上の方、障害者手帳またはミライロID〔スマートフォン向け障害者手帳アプリ〕をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料です。

※ 同時開催の特別展「聖林寺十一面観音」(東新館)、特別陳列「お水取り」(西新館)のチケットでもご覧になれます。

[5] お問い合わせ先

奈良国立博物館 Nara National Museum

〒630-8213 奈良市登大路町50(奈良公園内)

ハローダイヤル 050-5542-8600

ホームページ <https://www.narahaku.go.jp/>

〈交通案内〉

近鉄奈良駅下車徒歩 15 分、

またはＪＲ奈良・近鉄奈良駅から市内循環バス外回り「氷室神社・国立博物館」下車すぐ

〔６〕展示件数 10 件（うち重要文化財 3 件）

〔７〕展示内容

長い歴史を経て今に伝わる文化財は、その多くが過去に人の手による修理を受けながら大切に保存されてきたものです。奈良国立博物館では、これらの文化財をさらに未来へと継承していくために、絵画・彫刻・書跡・工芸・考古の各分野の収蔵品（館蔵品・寄託品）について毎年計画的に修理を実施しています。

この特集展示は、近年修理を受けた収蔵品の中から選りすぐった作品を展示公開し、あわせてその修理内容をパネルで紹介いたします。この展示を通じて、文化財修理に関する当館の取り組みについて、関心と理解を一層深めていただければ幸いです。

〔 8 〕 展示品一覽

指定	文化財名称	員数	所蔵者	修理期間
	文殊菩薩坐像	1 軀	法徳寺	令和 2 年度
重要文化財	五大虚空蔵像	1 幅	大覚寺	令和元年度～2 年度
重要文化財	両界曼荼羅図	2 幅	眞輪院	令和元年度～2 年度
	春日宮曼荼羅	1 幅	当館	令和 2 年度
	三天合体像	1 幅	談山神社	令和 2 年度
重要文化財	鑄銅三具足 附 木箱	1 具 1 合	聖衆来迎寺	令和 2 年度
奈良県指定文化財	刺繍善導大師像	1 幅	當麻寺念佛院	令和 2 年度
	金銅装山伏笈	1 背	当館	令和元年度～2 年度
	藤松蒔絵軸箱	1 合	当館	令和 2 年度
	奈良県・五條猫塚古墳出土品（金銅製龍文鈿帯金具、金銅製三葉文鈿帯金具）	一括	当館	令和 2 年度

[9] 主な展示品

1. 文殊菩薩坐像^{もんじゅぼさつざそう}

木造 彩色・截金 鎌倉時代（13世紀）

奈良 法徳寺（当館寄託品）

寄託品修理（令和2年度）

施工 公益財団法人 美術院

奈良地方を中心に信仰を集めた五髻を結う文殊菩薩像の一遺品で、童子形^{どうしぎよう}でまとまりのよい作風は善円^{ぜんえん}ら奈良を拠点に活動した仏師のそれに通じる。表面のクリーニングと彩色層・截金の浮き上がりの剥落止めを行い、底板^{もこいた}を新調して像底にあてることにより像容の回復と安定を図った。



2. 金銅装山伏^{こんどうそうやまぶしのおい} 笈

木製 漆塗 金銅装

室町時代（15世紀）

当館

館蔵品修理（令和元年～2年度）

北村工房(笈)／公益財団法人 美術院（五仏）



笈は修験道の山伏が仏像や仏具を収納して携行する背負具^{せおいく}。本品には五仏^{ごぶつ}も付属する。修理では、割損した部分を刻苧^{かつそう}漆^{くさうし}（漆に木粉などを混ぜたもの）で補修し、内部の棚板の欠失部分も補った。また、扉内面に貼られた仏画は欠失部分を補い、五仏は金箔の剥落止めなどを行った。